



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月6日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6060 URL http://www.cocolonet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安斎 紀之 TEL 024-573-6556
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,743	△4.9	221	△46.6	315	△31.2	222	△60.7
26年3月期第2四半期	6,041	9.0	414	△29.5	458	△28.0	566	154.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 204百万円 (△66.4%) 26年3月期第2四半期 608百万円 (189.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	58.01	—
26年3月期第2四半期	147.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	21,790	7,738	35.5	2,013.79
26年3月期	22,857	7,592	33.2	1,975.58

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 7,738百万円 26年3月期 7,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,602	△3.8	401	△51.5	510	△45.8	328	△55.2	85.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社サンストーン
詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	3,843,100株	26年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	125株	26年3月期	79株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	3,843,013株	26年3月期2Q	3,843,045株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. 施行件数の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に企業業績の向上や雇用情勢の改善がみられるなど着実な回復傾向が見受けられました。一方で、エネルギーコストや原材料価格の上昇、消費税率引き上げの影響により、今後の国内景気は依然として不透明な状況であります。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済においても、東日本大震災の復興需要等により企業収益が底堅く推移し回復傾向が見受けられたものの、消費税増税に加え、ガソリン等の物価上昇等により、個人消費の足取りは重いものとなりました。

このような環境下、当社グループでは、平成26年4月1日、経営資源の集約と組織の効率化を目的に子会社の再編を行いました。また、知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャル等によるプロモーション活動を継続的に行いましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動の影響が想定以上に大きいものとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は5,743百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は221百万円（同46.6%減）、経常利益は315百万円（同31.2%減）となりました。また、特別利益として補助金収入404百万円並びに特別損失として固定資産圧縮損378百万円等を計上した結果、四半期純利益は222百万円（同60.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に基づき作成した数値で比較しております。

また、当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント(各連結子会社)の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は横ばいで推移する中、同業他社との競争は激化しております。また、小規模葬儀の割合も増加傾向にあります。

このような状況の下、組織再編により効率化を図るとともに、葬儀施行後の法事受注・仏壇仏具等の販売及び互助会の再加入の勧誘といったアフターフォローの推進に取り組みました。その結果、施行件数は増加したものの葬儀の小規模化等による平均単価の低下が進み、売上高は2,361百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は53百万円（同18.2%減）となりました。

② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見られました。また、円安等による仕入れコストの上昇により収益性が低下しました。

このような状況の下、高品質石種の提案、インド産の石材を取り入れ差別化を図る等営業活動に注力し受注増加に努めました。その結果、売上高は1,012百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は82百万円（同27.0%減）となりました。

③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により墓石等の新規建立の需要は停滞気配で推移しました。

このような状況の下、インド産石材の特売、耐震構造墓石の提案等、お盆、秋彼岸向けの受注活動に注力いたしました。その結果、売上高は711百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は25百万円（同47.7%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて婚礼組数が減少しました。

このような状況の下、平成26年4月、婚礼事業会社2社を統合し経営の効率化を図るとともに、福島県郡山市の婚礼会場K I O K U N O M O R I（記憶の森）の全面建替えを行い開業いたしました。また、販促キャンペーンを実施し婚礼受注に努めましたが、同業他社の新規出店等による競争激化により受注増加には至りませんでした。その結果、売上高は1,369百万円（前年同期比11.7%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益69百万円）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は消費税増税により低調に推移しました。

このような状況の下、山形県山形市の山形営業所を本格稼働させ新規開拓に努めました。また、仕入れコストの圧縮に注力した結果、売上高は244百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は53百万円（同58.4%増）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会代理店による会員募集活動の強化により、会員数の増加を図り、互助会を利用した葬儀及び婚礼施行の増加に努めました。また、互助会組織の見直しにより経費負担が増加しました。その結果、売上高は3百万円（前年同期比32.5%減）、営業損失は44百万円（前年同期は営業利益5百万円）となりました。

⑦ 介護事業

介護事業につきましては、サービス付き高齢者向け住宅への入居、訪問介護・通所介護等のサービスの利用増加のため、広告宣伝活動等に取り組みました。その結果、売上高は7百万円（前年同期は売上高の計上はございません。）、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

⑧ その他

その他の装販部門については高級棺等の販売に注力いたしました。その結果、売上高は30百万円（前年同期比3.0%増）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ583百万円減少し3,865百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金保全のための国債購入及び短期借入金の返済等により現金及び預金が減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ482百万円減少し17,925百万円となりました。これは主に互助会事業における前払式特定取引前受金保全のための国債購入により投資有価証券が増加した一方、固定資産圧縮損及び減価償却費計上により建物及び構築物等が減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ679百万円減少し2,387百万円となりました。これは主に未払法人税等の支払い、短期借入金の返済等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ533百万円減少し11,664百万円となりました。これは主に長期借入金の返済及び前払式特定取引前受金の減少等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ146百万円増加し7,738百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少及び四半期純利益222百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ191百万円減少し1,101百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローで得られた資金は898百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上338百万円、減価償却費307百万円、婚礼会場及びサービス付き高齢者向け住宅建設に係る補助金の受取額404百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は69百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出512百万円、有形固定資産の取得による支出224百万円、投資有価証券の取得による支出289百万円、定期預金の払戻による収入853百万円、投資有価証券の償還による収入100百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローで使用した資金は1,020百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額460百万円、長期借入金の返済による支出493百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月14日付「平成26年3月期決算短信」にて公表しました平成27年3月期通期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、業績予想を修正しております。詳細は平成26年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社サンストーンは、株式会社郡山グランドホテルを存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。また、株式会社郡山グランドホテルは株式会社With Weddingに商号変更しております。

なお、特定子会社以外の子会社の異動については以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間において、株式会社川島は、当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,680,899	2,148,775
受取手形及び売掛金	860,794	763,560
有価証券	100,180	266,678
商品及び製品	435,764	387,342
仕掛品	33,823	51,241
原材料及び貯蔵品	32,404	33,912
その他	366,748	270,403
貸倒引当金	△61,686	△56,582
流動資産合計	4,448,928	3,865,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,760,648	7,171,240
土地	4,978,513	5,009,546
その他（純額）	263,068	309,095
有形固定資産合計	13,002,230	12,489,882
無形固定資産		
のれん	94,582	90,470
その他	44,351	41,619
無形固定資産合計	138,934	132,090
投資その他の資産		
投資有価証券	2,937,636	2,980,557
営業保証金	584,057	582,547
その他	1,821,190	1,815,307
貸倒引当金	△75,972	△74,731
投資その他の資産合計	5,266,911	5,303,680
固定資産合計	18,408,076	17,925,653
資産合計	22,857,004	21,790,985

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	467,219	370,139
短期借入金	810,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	854,185	805,975
未払法人税等	93,907	48,103
賞与引当金	163,816	154,499
固定資産除去費用引当金	16,234	7,734
資産除去債務	—	4,815
その他	661,585	646,027
流動負債合計	3,066,947	2,387,295
固定負債		
長期借入金	3,440,750	2,995,480
前受金復活損失引当金	32,050	26,855
資産除去債務	195,414	192,482
負ののれん	142,520	136,323
前払式特定取引前受金	8,025,821	7,998,198
その他	361,292	315,418
固定負債合計	12,197,848	11,664,758
負債合計	15,264,796	14,052,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,033,012	2,033,012
利益剰余金	4,955,402	5,120,705
自己株式	△73	△120
株主資本合計	7,489,000	7,654,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,560	20,327
為替換算調整勘定	87,646	64,347
その他の包括利益累計額合計	103,207	84,675
純資産合計	7,592,208	7,738,932
負債純資産合計	22,857,004	21,790,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,041,537	5,743,480
売上原価	4,095,674	3,991,752
売上総利益	1,945,863	1,751,728
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	14,529	1,328
給料及び賞与	528,410	566,014
賞与引当金繰入額	95,590	87,273
退職給付費用	18,625	20,008
その他	873,789	855,532
販売費及び一般管理費合計	1,530,945	1,530,158
営業利益	414,917	221,569
営業外収益		
受取利息	18,584	21,059
受取配当金	1,871	1,756
負ののれん償却額	6,196	6,196
持分法による投資利益	—	101
掛金解約手数料	21,524	22,684
前受金月掛中断収入	9,819	33,340
その他	35,254	56,165
営業外収益合計	93,250	141,302
営業外費用		
支払利息	37,762	31,249
持分法による投資損失	1,278	—
前受金復活損失引当金繰入額	1,084	6,377
その他	9,823	9,984
営業外費用合計	49,948	47,610
経常利益	458,220	315,261
特別利益		
固定資産売却益	165	6,227
投資有価証券売却益	799	—
負ののれん発生益	209,115	—
補助金収入	—	404,158
その他	31,828	6,566
特別利益合計	241,908	416,952
特別損失		
固定資産売却損	—	2,280
固定資産除却損	31,677	12,812
固定資産圧縮損	—	378,375
投資有価証券売却損	61	—
その他	168	—
特別損失合計	31,907	393,468
税金等調整前四半期純利益	668,221	338,745
法人税、住民税及び事業税	54,874	108,781
法人税等調整額	46,614	7,015
法人税等合計	101,488	115,797
少数株主損益調整前四半期純利益	566,733	222,948
四半期純利益	566,733	222,948

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	566,733	222,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△488	4,767
持分法適用会社に対する持分相当額	42,587	△23,298
その他の包括利益合計	42,099	△18,531
四半期包括利益	608,832	204,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608,832	204,416
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	668,221	338,745
減価償却費	275,207	307,309
のれん償却額	4,813	4,112
負ののれん償却額	△6,196	△6,196
負ののれん発生益	△209,115	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	10,716	△6,344
賞与引当金の増減額（△は減少）	△16,408	△9,316
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,221	—
前受金復活損失引当金の増減額（△は減少）	△6,347	△5,195
固定資産撤去費用引当金の増減額（△は減少）	—	△8,500
受取利息及び受取配当金	△20,456	△22,815
支払利息	37,762	31,249
為替差損益（△は益）	83	△163
持分法による投資損益（△は益）	1,278	△101
保険解約返戻金	△17,347	△310
固定資産圧縮損	—	378,375
固定資産売却損益（△は益）	△165	△3,947
固定資産除却損	31,677	12,812
投資有価証券売却損益（△は益）	△738	—
受取補償金	△8,907	△5,172
補助金収入	—	△404,158
売上債権の増減額（△は増加）	△146,437	97,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	19,001	30,115
未収消費税等の増減額（△は増加）	△2,852	26,106
仕入債務の増減額（△は減少）	△26,235	△97,080
未払消費税等の増減額（△は減少）	△7,748	92,351
前払式特定取引前受金の増減額（△は減少）	△5,042	△27,623
その他	△120,725	△179,933
小計	455,260	541,556
利息及び配当金の受取額	9,024	9,349
保険解約返戻金の受取額	17,347	5,855
利息の支払額	△37,966	△31,321
補償金の受取額	8,907	5,172
補助金の受取額	—	404,158
法人税等の支払額	△188,091	△36,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	264,481	898,587

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△502,000	△512,320
定期預金の払戻による収入	638,000	853,320
有形固定資産の取得による支出	△426,738	△224,679
有形固定資産の売却による収入	172	50,844
無形固定資産の取得による支出	△142	△3,000
固定資産の除却による支出	△111,580	—
投資有価証券の取得による支出	△49,982	△289,762
投資有価証券の売却による収入	2,883	—
投資有価証券の償還による収入	30,000	100,000
貸付けによる支出	—	△44,700
貸付金の回収による収入	5,852	968
営業保証金の差入による支出	△922	△31,838
営業保証金の回収による収入	45,128	33,302
その他	△18,073	△1,710
投資活動によるキャッシュ・フロー	△387,402	△69,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	40,000	△460,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△24,195	△9,073
長期借入れによる収入	610,000	—
長期借入金の返済による支出	△929,976	△493,480
自己株式の取得による支出	—	△47
配当金の支払額	△52,987	△57,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,159	△1,020,299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83	163
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△480,163	△191,123
現金及び現金同等物の期首残高	1,122,660	1,292,579
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	697,558	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,340,055	1,101,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,419,160	1,094,533	718,135	1,550,246	222,714	5,196	—	6,009,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,155	197,818	7,069	95,493	194,040	199,262	—	702,840
計	2,428,316	1,292,351	725,205	1,645,740	416,755	204,458	—	6,712,828
セグメント利益又は損失(△)	65,565	113,734	48,654	69,261	33,473	5,401	△415	335,675

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	30,006	6,039,994	1,542	6,041,537
セグメント間の内部売上高又は振替高	40,298	743,138	△743,138	—
計	70,304	6,783,133	△741,595	6,041,537
セグメント利益又は損失(△)	△561	335,113	79,804	414,917

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益487,168千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△400,000千円、セグメント間取引消去4,470千円、のれん償却額△4,011千円、その他の調整額が△7,823千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業及び互助会事業の資産の金額が著しく変動しております。前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、婚礼事業4,245,163千円、互助会事業3,193,201千円がそれぞれ増加しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,361,582	1,012,533	711,727	1,369,362	244,894	3,506	7,458	5,711,066
セグメント間の内部売上高又は振替高	968	196,516	300	111,048	209,104	158,520	—	676,457
計	2,362,550	1,209,050	712,027	1,480,410	453,999	162,026	7,458	6,387,524
セグメント利益又は損失(△)	53,653	82,987	25,441	△21,602	53,024	△44,441	△28,782	120,280

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	30,913	5,741,980	1,500	5,743,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	28,255	704,713	△704,713	—
計	59,169	6,446,693	△703,213	5,743,480
セグメント利益又は損失(△)	△3,721	116,558	105,011	221,569

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益419,160千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△312,000千円、セグメント間取引消去6,982千円、のれん償却額△3,310千円、その他の調整額が△5,819千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「介護事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第2四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	葬儀施行件数 (件)
福島事業部	578
郡山事業部	97
会津事業部	203
催事事業部	957
合計	1,835

(注) 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。

(2) 婚礼事業

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	婚礼施行件数 (件)
福島地区	105
郡山地区	169
会津地区	38
合計	312

(注) 上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。